

講義名称	東アジアの文化とキリスト教	担当教員名	李 元重
科目群	人文学 (HUM)		
科目区分等	キリスト教 CA3 DI1	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	

授業のキーワード	中国と台湾のキリスト教、韓国のキリスト教、日本のキリスト教
授業の概要	漢字と儒教文化を共有するが、独自の近代化を歩んできた中国、台湾、韓国、日本におけるキリスト教を歴史と文化の視点から理解します。
期待される学習成果 (目標)	1. 東アジアの文化と歴史に対する視野を広めます。 2. 文化の多様性に対する感覚を覚えます。 3. 東アジア諸国のキリスト教の相違点を話せます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の概観し、進行方法、評価などを説明します。
2	「カミの名は。」	キリスト教の「神」に対する東アジア諸国の名称を通じて、キリスト教受容の多様性を納得します。
3	中国のキリスト教1	近代以前の中国のキリスト教
4	中国のキリスト教2	近代の中国キリスト教史
5	中国のキリスト教3	中国キリスト教の現況と課題
6	台湾のキリスト教1	台湾キリスト教史
7	台湾のキリスト教2	台湾キリスト教の現況と課題
8	韓国のキリスト教1	韓(朝鮮)民族とキリスト教の出会い
9	韓国のキリスト教2	植民地時代と解放以来のキリスト教
10	韓国のキリスト教3	韓国キリスト教の現況と課題
11	日本のキリスト教1	日本人とキリスト教の出会い
12	日本のキリスト教2	明治期のキリスト教
13	日本のキリスト教3	昭和期のキリスト教
14	日韓のキリスト教関係	日韓キリスト教の相克と交流
15	まとめ	東アジアの平和のためのキリスト教の相互理解と連帯のため

定期試験	期末試験(ノート、配布資料などの資料の持ち込み可)
授業時間外学習	提示される参考文献を読みます。授業後、配布資料資料より復習します。
評価方法	①授業への積極的参加(30%), ②期末試験(70%)
使用する教科書(必ず購入してください)	特になし。適宜資料を配布します。
参考文献	石川照子ほか『はじめての中国キリスト教』かんよう出版、2016年。浅見雅一・安廷苑『韓国とキリスト教』中公新書、2012年。土肥昭夫『日本プロテスタントキリスト教史』新教出版社、2004年。